平成24年度

事務事業評価調書

整理番号 2 - 20

平成23年度実施

作成年月日 24.7.26

事務事業名 地域支援事業

事業区分 継続
 新規事業開始年度 平成20年度 住民参加 有 関係例規・法令名 介護サービス事業条例・介護保険法
事業終了年度 平成24年度 住民協働 無 関係個別計画名

会計区分 介護保険事業特別会計 款 1. 地域支援事業費 項 1. 地域支援事業費 目

担当課 介護支援課 担当係名 介護予防係 調書作成者職氏名 課長 對馬 良一

【第五期興部町総合計画】 登載事業 非登載事業 実施計画登載No 98

分類	コード	名 称
基本目標	3	生涯を支える“まちづくり”
施策項目	17	高齢者福祉の推進
単位施策	2	在宅福祉サービスの充実

I. 事業計画

(1) 【事業の相手】	※ 何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのか具体的に記載して下さい。 興部町在住の概ね65歳以上の高齢者。
(2) 【事業の概要】	※ 目指すべき姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載して下さい。 福祉保健総合センター「きらり」内に地域包括支援センターを設置。 高齢者の総合相談窓口の充実を目指し、高齢者の健康維持や介護予防を図ることにより、生活の安定に向けて必要な支援や援助を包括的に実施している。
(3) 【事業の成果】 目指す姿	※ 事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載して下さい。 地域の高齢者が住み慣れた地域で安心して、その人らしい生活を継続していくことが出来るように、どのような支援が必要かを把握し、地域における適切なサービス、関係機関又は各制度の利用につなげるなどの支援を行う。

II. 指 標【成果を判断する目標数値】

No	種 別	内 容	区 分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
1	対象指標	高齢者等総合相談件数	目標値	人	100	100	120	150	150
					実績値	83	63	143	130
2	活動指標	介護予防事業参加数	目標値	回	45	45	45	35	35
					実績値	26	23	26	12
3	成果指標		目標値	千円					
					実績値				
4			目標値						
					実績値				

III. 事業費の推移

(単位：千円)

区 分	19年度 決 算	20年度 決 算	21年度 決 算	22年度 決 算	23年度 決 算	24年度 予 算	20~24年度 合 計	
事業費(千円)	12,845	13,434	13,420	14,030	12,780	12,880	66,544	
財源内訳	国庫支出金	1,850	2,232	2,220	2,300	2,380	2,510	11,642
	道支出金	925	1,116	1,110	1,150	1,190	1,250	5,816
	地方債							0
	その他	9,320	8,731	8,830	9,320	8,440	7,640	42,961
	一般財源	750	1,355	1,260	1,260	770	1,480	6,125

IV. 担当課による事務事業の評価

区 分	チェック項目の説明（内容）等
1. 実施の妥当性 (1) 町の政策的な事業である。 ☐ (2) 公共性が高い事業である。 ☐ (3) 緊急性が高い事業である。 ☐ (4) 法令等により実施が義務付けられている。 ☒ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	法令等により原則、町が実施することが義務付けられているが、町の責任により適切な法人に一括して委託することが出来る。
2. 経済性・効率性 (1) 費用に見合う効果がある。 ☒ (2) コスト削減の余地がある。 ☐ (3) 受益者負担の余地がある。 ☐ (4) 補助制度等活用の可能性がある。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	・高齢者の総合相談窓口は、地域包括支援センター職員が中心となって実施している。 ・介護予防事業は、町の保健師や地域包括支援センター職員が実施している、より専門的な内容により専門講師を依頼して介護予防を推進している。
3. 必要性 (1) 町民のニーズがある。（高い） ☐ (2) 事業を継続する必要がある。 ☒ (3) 類似事業との統合・再編の可能性がある。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	高齢者の総合的支援や介護予防の観点から今後とも継続する必要がある。
4. 代替性 (1) 行政主体による実施が適当である。 ☒ (2) 民間委託等による実施が可能である。 ☐ (3) 住民協働（主体）による実施が可能である。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	包括的支援事業を適切な法人に一括して委託することも可能とされているが、適切な委託先がなく引き続き町による実施が適切と考える。
5. 事業の達成度 (1) 期待どおりの成果があがっている。 ☐ (2) 概ね期待どおりの成果があがっている。 ☒ (3) 成果が不十分である。 ☐ (4) 事業の見直し等が必要である。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	・高齢者の総合相談及び福祉・医療・介護等との連携、地域との連携により高齢者が安心して過ごせるよう包括的な支援体制を図っている。 ・介護予防事業では、「はつらつ運動教室」「いきいき口腔教室」を中心に、対象者を選定して計画通り実施しており生活機能の維持、向上が図られている。

特記事項

V. 一次評価（所管課）、二次評価（庁内評価委員会）

区 分	評 価	評価選択理由 / 今後の方向性
一次評価	継 続 【現状維持】	高齢者が住み慣れた地域で安心して在宅生活を送るために必要な事業であるため、現状維持で継続すべきである。
二次評価	/	二次評価対象外

VI. 外部意見（興部町総合計画策定審議会）

--	--

VII. 総合評価（町長、副町長、教育長）

最 終 評 価	評価選択理由 / 今後の方向性

☆ 評 価

(1) 継 続 【現状維持】 ⇒ 事業内容、事業量に大きな変動がなく、予算増減が少ないもの
(2) 継 続 【拡 充】 ⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算増を伴うもの
(3) 継 続 【縮 小】 ⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算減を伴うもの
(4) 継 続 【統 合】 ⇒ 事業内容の類似する事業に統合し、この事業を廃止するもの | (5) 終 了 ⇒ 単年度事業、期間満了による事業の終了
(6) 休 止 ⇒ 隔年度での事業実施などによる事業の休止
(7) 廃 止 ⇒ この事業を廃止するもの |
|--|--|